

サブカルテ (3年度決算) 図書館運営経費 図書館

10-05-03-658 子どもの読書活動推進に係る経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	子どもの読書活動の推進に関する法律			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	A2-1	A2-2	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画、多摩市読書活動振興計画、多摩市立図書館本館再整備基本計画					
関連する報告書など	多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市の教育、多摩市の図書館					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定と推進 平成18年11月多摩市子どもの読書活動推進計画(第一次)、平成24年2月第二次計画、平成30年3月第三次計画を策定した。第三次計画を着実に推進していくためにアクションプランを作成し、担当課、小・中学校が毎年、振り返りを行い、更新している。 ・組織の見直し 平成25年度に図書館の組織全体の見直しを行い、「子ども読書支援係」を設置した。なお、本カルテは平成27年度から開始した。 					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成18年度
事業の目的、 令和3年度の目標	アクションプランに基づく第三次計画の施策の推進。	
予算の執行方法	図書購入費(新聞購読、書籍購入)、図書館運営経費(報償費、消耗品)の適正な執行。	
事業の成果	①第三次計画の前半が終了したことから、計画推進の中間報告を教育委員会等で行った。 ②令和3年度より、小学生向け(保護者向け)「多摩市立図書館ニュース」の発行を開始した。 ③子ども読書まつりの講演会では、新たな試みとして、今、市民、児童、生徒の関心が高いもの、対象を若い世代に限定したもの2つを開催した。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
決算額(単位:千円)	11,092 千円	13,530 千円	12,170 千円	13,633 千円	9,589 千円
事業にかかる実コスト	34,887 千円	39,740 千円	40,235 千円	36,151 千円	32,118 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	11,092 千円	13,530 千円	12,170 千円	13,633 千円
	間接経費				
職員人件費	23,795 千円	26,210 千円	28,065 千円	22,518 千円	
《従事人員数》	2.70 人	3.12 人	3.27 人	2.69 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	乳幼児、児童、ティーンズ向け図書(雑誌を除く)購入費	目標	11,000千円	9,460千円	9,106千円
		結果	13,038,915円	8,864,574円	—
成果指標 (アウトカム)	乳幼児、児童、ティーンズ向け図書の貸出冊数(市立図書館・学校図書館)	目標	883,000冊	794,000冊	691,000冊
		結果	721,757冊	831,603冊	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		子どもの読書活動推進に関する図書館内の体制づくり。 第三次計画の推進(計画期間前半の成果の検証結果を基に進める)
N	A	A	イ	

サブカルテ (3年度決算) 障がい者サービス事業

図書館

10-05-03-659

障がい者サービス事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法、障害者差別解消法、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	B4-1	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市読書活動振興計画、多摩市立図書館本館再整備基本計画					
関連する報告書など	多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市の教育、多摩市の図書館					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	国際障がい者年の昭和56年から障がい者向け録音図書の貸出を開始し、平成9年開館の永山図書館を障がい者サービスの拠点館とする。平成26年度からは国立国会図書館の視覚障がい者等用データベースに多摩市で作製したデータの提供を開始した。平成29、30年度音訳者新規要請のための講座を開催。令和元年度障がい者等用情報機器の更新を行った。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	何らかの障害により、印刷文字による読書が困難な方や図書館へ来館するのが困難な方などの読書要求に応えていくことを目的とする。 令和3年度は国内外の動向を見ながら「多摩市立図書館障がい者サービス事業実施要綱」を改定し、様々な障害を持つ方の読書環境の向上を図る。
予算の執行方法	音訳編集研修の講師及び行政協力員等の謝礼、録音・点字図書等の消耗品、障がい者等用情報機器借上料の執行。
事業の成果	録音図書及び点字図書の作製、対面朗読や図書の宅配サービス、視覚障がい者等用情報機器によるインターネットを利用した情報ネットワークサービス等を提供することで、障害を持った方々の利便性を向上させ、様々な読書要求に応えた。視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)に沿い、アクセシブルな電子書籍等(音声読み上げ対応の電子書籍、オーディオブック、マルチメディアデジター図書等)の利用促進を図った。令和3年度末に、要綱を改正し、サービス対象者の枠や提供サービスを広げ、市民の利便性を図った。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	2,390 千円	2,233 千円	1,711 千円	2,218 千円	1,853 千円	
事業にかかる実コスト	22,516 千円	16,925 千円	12,708 千円	17,640 千円	16,317 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支支出金	1,194 千円	1,116 千円	856 千円	1,109 千円	927 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	1,196 千円	1,117 千円	855 千円	1,109 千円	926 千円
	間接経費					
職員人件費	17,626 千円	8,989 千円	6,094 千円	12,808 千円	12,258 千円	
《従事人員数》	2.00 人	1.07 人	0.71 人	1.53 人	1.48 人	
その他の人件費	2,500 千円	5,703 千円	4,903 千円	2,614 千円	2,206 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	録音図書・雑誌、点字図書の作製数	目標	22タイトル	28タイトル	30タイトル
		結果	39タイトル	32タイトル	—
成果指標 (アウトカム)	録音図書、点字図書の利用件数＋対面朗読実施回数＋利用者への宅配回数	目標	3,814件	3,566件	3,222件
		結果	2,769件	2,387件	—

特記事項

令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面朗読の実施回数が減少している。

◇自己点検

の 成果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
C	A	A	イ	視覚障がい者へのサービスから、図書館利用に障害のある人へのサービスへと変化があり、施設整備も含めた対応が求められる。

<図書館事務経費>

◇執行状況及び成果等

- 1 多摩市図書館協議会委員の構成 7人
(内訳：学識経験のある者2人、学校教育の関係者1人、社会教育の関係者1人、家庭教育の向上に資する活動を行う者1人、図書館を利用する者2人)
- 2 多摩市図書館協議会開催状況及び報酬内訳

(円)

年度	開催回数	委員報酬額	内訳		
29	4回	235,200	会長12,500×4回	副会長11,800×3回	委員10,700×14回
30	4回	235,200	会長12,500×4回	副会長11,800×3回	委員10,700×14回
元	5回	314,100	会長12,500×5回	副会長11,800×5回	委員10,700×18回
2	4回	268,400	会長12,500×4回	副会長11,800×4回	委員10,700×16回
3	5回	290,500	会長12,500×5回	副会長11,800×3回	委員10,700×18回

- 3 多摩市図書館協議会の主な検討内容

開催日	主な検討内容
4月23日	・事業評価の評価方法について
7月9日	・令和2年度多摩市立図書館事業評価について
8月4日	・令和2年度多摩市立図書館事業評価について
10月6日	・令和2年度多摩市立図書館事業評価について
3月18日	・多摩市立図書館事業計画について

- 4 主な経費（役務費）

(円)

年度	合計	特定通信回線使用料	電話料	プロバイダ利用料
29	4,478,009	1,567,277	1,746,894	1,163,838
30	6,505,606	4,006,765	1,679,603	819,238
元	7,019,863	4,236,012	1,645,231	1,138,620
2	6,961,507	4,272,948	1,645,759	1,042,800
3	6,810,638	4,276,800	1,491,038	1,042,800

<図書整理事業>

◇執行状況及び成果等

1 製本業務委託料

資料の活用可能期限を延長するため、資料に製本・修理を講じ、多くの市民に資料を提供する。

年度	製本		修理			
			保護		CD研磨	
	冊数 (冊)	金額 (円)	冊数 (冊)	金額 (円)	枚数 (枚)	金額 (円)
29	78	289,871	870	112,752	72	31,104
30	73	258,444	528	91,238	184	79,488
元	72	261,140	385	67,760	248	109,120
2	75	268,180	625	110,000	120	52,800
3	80	283,360	811	142,736	15	12,540

2 電算機可読目録使用料

電算機可読目録(MARCマーク)は、コンピュータ上で検索などの機能に対応するように作られた書誌目録データである。

平成18年3月に稼動した図書館システムは平成30年7月に第V期に更新され、これまでの書誌情報に加え、受賞情報や書評情報がわかる可読目録にレベルアップした。市内小・中学校の学校図書館と共有化されており、資料の詳細を取り込み、所蔵の表記等に加え、図書館全館の検索用目録並びに発注等事務に使用している。

令和3年度決算額 2,904,000円

<図書購入事業>

◇執行状況及び成果等

1 過去5年間の蔵書数の推移

年度	購入	寄贈/その他	除籍	蔵書	増減	人口(人)	市民1人当たり
29	25,181	2,751	19,887	745,312	8,045	148,654	5.01
30	24,121	3,430	16,174	756,689	11,377	148,691	5.09
元	23,363	4,265	31,267	753,050	△ 3,639	148,835	5.06
2	25,349	3,871	23,325	758,945	5,895	148,411	5.11
3	26,184	3,806	15,550	773,385	14,440	147,552	5.24

*平成25年度から28年度までは、汚損・破損資料を中心に廃棄を進めた。

*令和3年度の電子書籍コンテンツ数は6,943点である。

2 過去5年間の図書購入事業費の推移

(円)

年度	合計	内訳				
		10節(雑誌・新聞)	13節(オンラインデータベース)	13節(電子図書館)		17節(書籍・CD、カセット等)
				コンテンツ使用	システム使用	
29	56,140,404	9,008,028	1,672,236	—	—	45,460,140
30	56,375,792	9,191,956	1,683,900	—	—	45,499,936
元	56,869,600	9,406,714	1,948,087	—	—	45,514,799
2	93,972,308	9,510,008	1,965,902	15,103,999	198,000	67,194,399
3	85,384,610	9,963,128	1,965,902	11,588,807	792,000	61,074,773

*令和2年度から中央図書館用図書を計画的に購入している。

3 学校図書館への支援(調べ学習充実のための資料)

年度	購入額(円)	購入点数(冊)	主な購入図書
29	998,174	238	オリンピック・パラリンピック大百科 全7巻セットほか
30	549,838	147	ポプラディア情報館ほか
元	534,127	196	マイクロワールド人体大図鑑 全7巻セットほか
2	501,871	162	調べようごみと資源 全6巻ほか
3	498,852	87	総合百科事典ポプラディア 全18巻ほか

*平成25年度から新たな小学生への読書支援として図書購入事業の一部を充当した。

<図書館運営経費>

◇執行状況及び成果等

1 令和3年度の利用状況(個人利用)

館名	開館日数	貸出者数	貸出冊数	予約件数	利用者割合
図書館本館	328	131,027人	356,287冊	95,377件	21.3%
東寺方図書館	293	30,789人	81,193冊	27,046件	5.0%
豊ヶ丘図書館	293	56,043人	139,500冊	45,289件	9.1%
関戸図書館	305	128,075人	276,828冊	96,790件	20.8%
聖ヶ丘図書館	293	35,450人	87,118冊	32,194件	5.7%
永山図書館	305	182,466人	405,346冊	140,112件	29.6%
唐木田図書館	293	49,419人	124,539冊	42,283件	8.0%
行政資料室	242	2,885人	5,899冊	5,278件	0.5%
合計	—	616,154人	1,476,710冊	484,369件	100.0%

*予約件数には多摩市立図書館未所蔵資料への申込み(リクエスト)も含む。

2 図書館本館及び関戸図書館施設管理経費

(円)

年度	図書館本館			関戸図書館		
	修繕料	維持補修工事	保守業務委託	修繕料	維持補修工事	保守業務委託
29	1,609,952	75,600	13,927,261	120,150	0	1,414,800
30	1,217,235	0	14,358,756	54,000	158,544	1,630,800
元	1,185,646	0	15,445,999	256,525	0	1,655,740
2	409,937	0	16,115,178	880,660	0	1,749,000
3	694,100	0	16,142,678	0	0	1,760,000

3 おはなし会実施状況

館名	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
図書館本館	127回	1,129人	99回	877人	96回	865人	24回	145人	47回	270人
東寺方図書館	24回	173人	26回	184人	23回	131人	8回	64人	14回	77人
豊ヶ丘図書館	48回	586人	47回	561人	37回	682人	1回	25人	6回	30人
関戸図書館	70回	691人	63回	495人	41回	346人	3回	18人	25回	120人
聖ヶ丘図書館	94回	765人	61回	585人	51回	488人	10回	134人	27回	304人
永山図書館	71回	1,002人	71回	977人	62回	570人	3回	6人	29回	130人
唐木田図書館	43回	324人	45回	486人	39回	302人	8回	58人	19回	183人
合計	477回	4,670人	412回	4,165人	349回	3,384人	57回	450人	167回	1,114人

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月25日～6月30日、7月12日～9月30日のおはなし会は中止した。

4 ブックスタート 多摩市絵本かたりかけ事業実施状況

年度	開催回数	対象者数	絵本配付者数 (うち健診日以外の配付者数)	配付率	絵本購入費	市民ボランティア 協力者延人数
29	24回	989人	981人(28人)	99%	299,538円	109人
30	24回	916人	899人(18人)	98%	475,200円	113人
元	23回	874人	860人(8人)	99%	478,720円	96人
2	18回	802人	785人(11人)	98%	290,400円	0人
3	24回	733人	729人(20人)	99%	291,060円	0人

*健康センターで実施している「3～4か月児健康診査」で絵本、ブックリスト等を配付。

*健診会場での絵本の配付は市民ボランティアと協働で実施。

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年4月～6月の健康センターでの健診中止期間は、郵送にて絵本を配付した。また、令和2、3年度は市民ボランティアの活動は中止した。

*平成30年度から事業名を、ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業に変更。

(未受診者は後日各図書館や、健康センターの訪問事業でも受け取ることができる)

<障がい者サービス事業>

◇執行状況及び成果等

1 録音図書・雑誌等障がい者サービス利用状況

年度	テープ図書 (件)	テープ雑誌 (件)	デジター図書 (件)	デジター雑誌 (件)	点字図書 (件)	対面朗読		資料宅配 (回)
						(時間)	(回数)	
29	16	30	2,533	1,026	7	480	264	92
30	5	28	2,137	1,043	63	493	268	68
元	6	22	2,102	975	77	367	199	59
2	5	14	1,701	869	81	69	43	56
3	7	10	1,321	875	63	67	34	77

2 国立国会図書館視覚障がい者等用データベース利用状況 (ダウンロード・ストーリーミング)

年度	デジター図書		デジター雑誌		点字図書	
	提供数 (タイトル)	利用数 (件)	提供数 (タイトル)	利用数 (件)	提供数 (タイトル)	利用数 (件)
29	134	2,249	44	482	47	1,175
30	138	1,752	56	497	47	1,185
元	146	1,798	67	790	47	1,953
2	151	1,786	79	742	47	2,409
3	153	2,239	91	617	47	1,509

*平成26年9月よりデータベースへのデータ提供を開始。

3 行政協力員・ボランティア謝礼

(円)

年度	録音図書作製等	デージー編集	対面朗読	資料宅配	点字本作製
29	102,710	112,620	288,000	61,600	7,100
30	207,850	190,880	295,800	47,600	49,300
元	117,310	125,420	220,200	38,500	75,000
2	192,890	176,750	41,400	36,400	50,700
3	115,770	111,970	40,200	50,400	28,100

事業カルテ (3年度決算)

図書館

10-05-03-929

地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	A2-1	C2-1	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市読書活動振興計画					
関連する報告書など	多摩市の教育、多摩市の図書館					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	多摩市立図書館所蔵の貴重資料と多摩市に関する記録(地域資料)を多く所有しているが、資料の経年劣化などの理由により、一般公開していないものが多いことから資料をデジタル化し、インターネットを通じて発信する。デジタルアーカイブの構築にあたり公益財団法人図書館振興財団の助成金を活用する。令和2年度からの2ヶ年事業である。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	令和2年度
事業の目的、 令和3年度の目標	地域資料・貴重資料等をデジタル化し、「多摩市デジタルアーカイブ」にて公開する。多摩市の歴史、文化財、所蔵する貴重資料等を広く情報提供し、教育・研究・観光等で活用されることを目指す。令和3年度は、多摩市が収集した郷土写真、市制施行50周年記念誌のデジタル化や多摩ニュータウンパノラマ画像、小・中学校学習用コンテンツ等を作成し公開する。	
予算の執行方法	デジタルアーカイブ作成業務委託、社会科副読本掲載業務委託、サーバー使用料	
事業の成果	今年度は、市制施行50周年記念事業の一環として、『多摩市市制施行50周年記念誌』の他、「多摩市内パノラマ映像」、「小・中学校社会科副読本」、「多摩の民話『おしゃもじさま』」他3点、「多摩の郷土写真」を新たに公開した。「小・中学校社会科副読本」や『多摩市史』、『調布玉川画図』、「縄文土器」など、子どもたちの学習、多摩地域の歴史研究に役立つコンテンツをまとめて「小中学校学習用コンテンツ」として掲載し、授業、家庭学習、調べ学習などで活用できるようにした。	

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	0千円	0千円	0千円	15,058千円	15,541千円	
事業にかかる実コスト	0千円	0千円	0千円	21,253千円	19,351千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	14,833千円	15,167千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円	225千円	374千円
	間接経費					
職員人件費	0千円	0千円	0千円	6,195千円	3,810千円	
《従事人員数》	0.00人	0.00人	0.00人	0.74人	0.46人	
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	地域資料・貴重資料等の公開資料数	目標	100点	5000点	—
		結果	114点	3135点	—
成果指標 (アウトカム)	地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブアクセス件数	目標	30,000件	120,000件	—
		結果	32,640件	328,812件	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 後 の 性	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
N	A	B	イ	令和4年度は教育指導課で作成した中学校社会科副読本の掲載を予定している。

＜地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業＞

◇執行状況及び成果等

1 事業の成果

「多摩市デジタルアーカイブ」は令和2・3年度の2ヶ年事業で、令和3年1月25日から公開を始めた。

令和2年度は、市指定有形文化財『調布玉川惣画図』、市内埋蔵文化財発掘調査において発掘された縄文土器、『多摩市史（通史編1. 2、民俗編）』、図書館が所蔵している錦絵や古地図、和装本など114点を公開した。

令和3年度は、市制施行50周年記念事業の一環として、『多摩市市制施行50周年記念誌』『多摩市内パノラマ映像』『小・中学校社会科副読本』『多摩の民話『おしゃもじさま』』他3点の動画、「多摩の郷土写真」を新たに公開した。

小中学校学習用コンテンツでは、「小・中学校社会科副読本」の他に『多摩市史』、『調布玉川惣画図』、『縄文土器』など、子どもたちの学習、多摩地域の歴史研究に役立つデジタルコンテンツをまとめて掲載し、授業、家庭学習、調べ学習などで活用できるものとした。

多摩市内パノラマ映像では、市内3か所（多摩市役所、多摩市立図書館本館、東永山複合施設）の上空から空撮したパノラマから、小・中学校の写真や校歌の紹介、市指定文化財や多摩市の特色である緑豊かな公園、数多く設置されている橋梁、ニュータウン開発区域の住宅地を紹介した。又、昭和初期に建設された歴史的価値のある市指定有形文化財「旧多摩聖蹟記念館」、江戸時代の建物と推定される多摩市の典型的な農家住宅「旧加藤家」等を立体映像で紹介した。

2 事業に関連する経費

(円)

年度	合計	内訳				
		報償費	サーバー使用料	委託料		
				デジタルアーカイブ作成業務委託料	ホームページ作成業務委託料	掲載用データ作成業務委託料
2	15,058,175	0	44,000	14,832,675	181,500	—
3	15,541,130	0	264,000	15,167,130	—	110,000

*公益財団法人図書館振興財団より、29,999,805円の助成を受けている。

事業カルテ (3年度決算)

図書館

10-05-03-931

多摩市立中央図書館整備事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字・活字文化振興法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	A2-1	B4-1	D1-4	F1-2	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市読書活動振興計画、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画、第四次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市立図書館本館再整備基本計画					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	学校校舎を暫定活用している現本館の再整備に向けた事業である。平成28年度に「基本構想」、30年度に「基本計画」を策定した。令和2年5月に基本・実施設計をまとめ、これを基に建設工事の契約手続きに取り組んだ。入札・再入札を経て、令和3年3月に契約締結し、同年4月から建設工事を開始する。令和2年度予算から多摩市立図書館本館再整備事業を多摩市立中央図書館整備事業に名称変更している。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成28年度
事業の目的、 令和3年度の目標	暫定活用中の本館から、図書館サービス全体の充実を支えるとともに高度専門的な情報や多様な活動の場を提供する中央図書館の整備を目指す。 令和3年度は、前年度にまとめた実施設計を基に建設工事(期間:令和3~4年度)を進める。また、整備に伴い伐採する多摩中央公園の樹木を有効に活用し、健全な森林整備の学びを深める体験型ワークショップを行う。	
予算の執行方法	○建設工事関係:中央図書館建設工事,中央図書館建設工事監理業務委託,自家用電気工作物保安点検委託,機械警備等業務委託 ○中央公園伐採木活用関係:講師謝礼,グリーンボランティア謝礼,消耗品,レクリエーション傷害保険,伐採木を使用した家具等制作業務委託	
事業の成果	中央図書館の整備によって、多摩市の「知の地域創造」の拠点として、文化の継承や豊かな地域社会の実現に寄与する。 令和3年度は4月から建設工事を本格的に開始した。多摩中央公園の伐採木活用事業にも取り組み、本事業の一環として、樹木伐採起工式や木工体験、炭焼き体験を市民参画により実施した。建設工事は土工事等の遅れのため、工期延長が必要になり、竣工を令和4年12月から令和5年3月に、中央図書館の開館を令和5年5月から同年7月に変更した。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	320 千円	53,875 千円	8,344 千円	124,459 千円	685,876 千円	
事業にかかる実コスト	11,424 千円	66,476 千円	30,058 千円	141,201 千円	704,098 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	5,156 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	400,000 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	900 千円	3,524 千円	305 千円
	一般財源	320 千円	53,875 千円	7,444 千円	120,935 千円	280,415 千円
	間接経費					
職員人件費	11,104 千円	12,601 千円	21,714 千円	16,742 千円	18,222 千円	
《従事人員数》	1.26 人	1.50 人	2.53 人	2.00 人	2.20 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	建設工事及び伐採木活用プロジェクトを開始する。	目標	建設工事・伐採木活用を開始する	建設工事・伐採木活用を開始する	建設工事・伐採木活用を完了する
		結果	建設工事の入札不調により、令和3年度に後ろ倒し	建設工事・伐採木活用を開始した	—
成果指標 (アウトカム)	建設段階においても市民参加や情報共有を行い、市民に求められる図書館の整備計画とする。	目標	建設段階における市民参加、情報共有	建設段階における市民参加、情報共有	建設段階における市民参加、情報共有
		結果	建設工事の入札不調により、令和3年度に後ろ倒し	市民参加による伐採起工式・木工/炭焼き体験を実施した	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ ー 量 的	財 一 源 般		
N	A	A	I	令和5年7月の開館に向けて、建設工事や伐採木の活用、開館準備等を着実に進める。

＜多摩市立中央図書館整備事業＞

◇整備の状況

1 平成28年度：図書館本館再構築基本構想の策定

学校校舎を暫定活用している現在の本館の恒久整備に向けた第一段階として、平成28年6月から、本館・分館のあり方を含めた全市図書館システムの再構築と、全市図書館サービスの充実を支えつつ、高度専門的な情報や多様な活動の場を提供する中央図書館について検討し、これらを平成29年3月に「基本構想」としてまとめた。検討にあたっては、基本構想策定委員会を設置し、策定委員会の審議（全6回）とあわせて市民団体のヒアリングや市民フォーラム、パブリックコメントを実施するなどし、教育委員会で決定した。この基本構想を、中央図書館の整備に向けて、今後策定を予定する諸計画の基本的方針とする。

2 平成29～30年度：図書館本館再整備基本計画の策定

基本構想で示された将来像、検討課題を踏まえ、新本館の運営やサービス、資料、機能に応じた必要な施設の概要、整備費用の概算などについて、平成30年2月から検討し、これらを同年8月に「基本計画」としてまとめた。検討にあたっては、基本計画検討委員会を設置し、検討委員会の審議（全8回）とあわせて市民団体のヒアリングや市民フォーラム、パブリックコメントを実施するなどし、教育委員会で決定した。

3 令和元年度：図書館本館再整備基本設計の完了と実施設計業務の取り組み

基本設計業務については、基本計画で示された中央図書館像の実現に向けて、平成31年2月から検討を開始した。市と設計者の内部検討に加えて、ワークショップや市民説明会の市民意見も参考にしながら、設計の取り組みを進め、令和元年7月に基本設計をまとめた。

また、基本・実施設計の基礎資料とするため、並行して、敷地測量業務と地盤調査業務も行った。

令和元年8月からは、基本設計を基に、今後の建設工事に向けて、実施設計業務に取り組み、内容の具体化・詳細化、発注図書を作成を進めた。

4 令和2年度：実施設計の完了と建設工事の契約締結について

実施設計業務は令和元年度中に完了する予定だったが、設計変更の必要が生じたため、契約期間を延長して作業を行い、令和2年5月に完了した。

実施設計を基に、中央図書館建設工事と関連する付帯工事3件（計4件）の入札を行ったが、不調となったため、設計内容と設計金額を一部見直したうえで再入札を行った。令和3年2月に4件とも落札され、同年3月に契約締結した。

5 令和3年度：建設工事と中央公園のみどりの記憶をつなぐプロジェクトの開始

中央図書館建設工事は、令和3年4月の市民参画による「樹木伐採起工式」実施以降、本格的に着工した。本起工式は、建設工事のスタートであるとともに、中央図書館の整備により伐採した多摩中央公園の樹木の有効活用事業（中央公園のみどりの記憶をつなぐプロジェクト）にも位置付けている。伐採木の有効活用イベントとして、7月・8月に木工体験講座、令和4年1月～2月に炭やき体験講座を開催した。建設工事では、主に伐採工事・掘削工事・基礎工事を進めた。掘削工事の土砂処分及び既設埋設物の対応に遅れが生じ、工期の延長が必要になったため、竣工を令和4年12月から令和5年3月に、開館予定を令和5年5月から同年7月に変更した。

○ 事業に関連する経費（令和3年度）

名称	経費(千円)	内容
講師謝礼・グリーンボランティア謝礼・消耗品・レクリエーション傷害保険料	512	中央公園のみどりの記憶をつなぐプロジェクトの各種体験講座に係る経費
自家用電気工作物保安点検委託料	162	中央図書館の自家用電気工作物の保安点検に係る経費
多摩市立中央図書館建設工事監理業務委託料	23,900	中央図書館建設工事の監理業務に係る経費
伐採木を使用した家具等制作業務委託料	702	中央図書館整備の際に伐採した樹木から中央図書館の閲覧用テーブル等を作成するための経費
多摩市立中央図書館建設工事	660,600	中央図書館の建設工事に係る経費
合計	685,876	

事業カルテ (3年度決算)

教育振興課

10-05-04-662

ハヶ岳少年自然の家管理運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	教育基本法第12条第2項 社会教育法第5条第1項第14号			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A2	人と学びを未来につなぐまちづくり			
	施策	2	豊かな心を育む教育の推進			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン 多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム					
関連する報告書など	指定管理者 管理運営評価シート、多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	小・中学校及び青少年団体がハヶ岳の雄大な自然の中で、心身ともに健全な青少年の育成を図るため昭和55年に施設を開所。平成15年10月に使用料を、平成25年1月に利用料金の見直しを行った。平成20年4月から指定管理者制度を導入し、さらなるサービス向上を図った。平成30年4月に仕様と宿泊利用料金・食料の見直し、暖房料の新設を行い、指定管理料の見直しを図った。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	指定管理者による施設の適正な管理運営を維持するとともに、利用者への一層のサービス向上に努める。施設の効率的活用と収入を増やすため施設の利用促進を図る。また、持続的な運営継続に向け、施設の利用促進のためのPRを図る。
予算の執行方法	指定管理者との協定に基づく指定管理料、火災保険料、地域振興協力負担金を執行した。
事業の成果	施設、設備を安全に利用できるよう管理し、小中学生をはじめとした市民に、市内ではできない貴重な自然体験の場を提供した。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、コロナ禍においても休所することなく施設を運営することができた。また、一般利用者及び多摩市立小中学校の移動教室等での利用も徐々にではあるが回復させることができた。

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	132,766 千円	66,794 千円	67,357 千円	67,960 千円	67,961 千円	
事業にかかる実コスト	135,410 千円	69,314 千円	69,932 千円	70,471 千円	70,446 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	132,766 千円	66,794 千円	67,357 千円	67,960 千円	67,961 千円
間接経費						
職員人件費	2,644 千円	2,520 千円	2,575 千円	2,511 千円	2,485 千円	
《従事人員数》	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	施設の開所日数	目標	365日	365日	365日
		結果	304日	365日	—
成果指標 (アウトカム)	施設に宿泊し、ハヶ岳の雄大な自然に触れた人数	目標	11,600人	10,000人	10,000人
		結果	1,095人	6,830人	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
B	B	B	イ	新型コロナウイルス感染症の影響で施設利用者の減少が見込まれるが、感染症対策を実施しながら安全・安心に施設を利用できるよう、持続的運営を図る。 また、6年後の施設のあり方について、検討する必要がある。

＜八ヶ岳少年自然の家管理運営事業＞

◇ 執行状況及び成果等

平成20年4月から、指定管理者制度を導入し、指定管理による八ヶ岳少年自然の家の管理・運営を行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、コロナ禍においても休所することなく施設を運営することができた。

1 八ヶ岳少年自然の家管理運営経費執行状況

経 費	令和3年度
役務費（火災保険料）	122,897円
委託料（八ヶ岳少年自然の家指定管理料）	66,200,000円
負担金・補助金及び交付金（地域振興協力負担金）	1,638,000円

2 八ヶ岳少年自然の家利用状況

年 度	小学校・中学校移動教室等		一般団体等		延利用人員 合計 〔延宿泊人員〕
	学校数	延利用人員	団体数	延利用人員	
29	35	7,967人	445	14,158人	22,125人〔12,810人〕
30	39	8,795人	379	10,106人	18,901人〔11,075人〕
元	43	9,418人	369	9,475人	18,893人〔11,112人〕
2	0	0人	133	2,013人	2,013人〔1,095人〕
3	37	7,311人	234	4,291人	11,602人〔6,830人〕

事業カルテ (3年度決算)

教育振興課

10-06-01-667

学校開放費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	学校教育法第137条、社会教育法第44条、スポーツ基本法第13条				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり				
	関連する施策	-	-	-	-	-	
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市スポーツ推進計画						
関連する報告書など	多摩市の教育						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和50年12月から市内の小中学校施設等の開放を開始、平成13年3月から夜間照明設置3中学校の夜間校庭の開放を開始した。平成26年度から学校開放有料化を開始、あわせて学校開放施設の使用手続き統一のため夜間照明設備の施設予約システムから離脱。平成28年度から学校開放管理システムを本格稼働。スポーツ振興くじ助成を受け、平成28年度に和田中学校、平成29年度に鶴牧中学校、平成30年度に多摩永山中学校の夜間照明設備のLED照明化を実施。						

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	地域の拠点である学校(小学校17校・中学校9校)施設を、学校教育に支障のない範囲で、市民団体等に開放し、学習、文化及びスポーツ等の活動の場として提供して、多摩市における社会教育の振興を図る。学校開放に必要な備品及び施設の補修等を実施する。
予算の執行方法	学校開放に係る学校開放管理業務委託、維持管理のための修繕、光熱水費、消耗品等を支出した。施設使用券の販売を市内の3店舗に委託し、使用料の徴収を行った。
事業の成果	学校開放による社会教育の振興、市民活動の充実を図った。また、学校開放団体との情報共有を図るため、学校開放連絡協議会の代表者会議を年2回開催した。新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのルールの徹底とチェックリストの提出を求め、手指消毒用アルコール、ハンドソープなどを設置した。また、陽性者が出た団体が利用していた施設には消毒に出向くなど感染拡大防止にも努めた。

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	118,332 千円	100,598 千円	70,027 千円	41,777 千円	63,412 千円	
事業にかかる実コスト	131,164 千円	114,202 千円	85,186 千円	57,164 千円	80,103 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	21,400 千円	12,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	30,547 千円	31,102 千円	12,811 千円	3,287 千円	8,144 千円
	一般財源	66,385 千円	57,496 千円	57,216 千円	38,490 千円	55,268 千円
間接経費						
職員人件費	9,782 千円	10,165 千円	11,672 千円	11,385 千円	14,163 千円	
《従事人員数》	1.11 人	1.21 人	1.36 人	1.36 人	1.71 人	
その他の人件費	3,050 千円	3,439 千円	3,487 千円	4,002 千円	2,528 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	学校施設の市民開放	目標	26校	26校	26校
		結果	26校	26校	—
成果指標 (アウトカム)	使用者延べ人数(クラブハウスを除く。)	目標	340,000人	300,000人	300,000人
		結果	109,720人	168,177人	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し	方今 向後の 性の	—	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的			
B	B	B	イ	

<学校開放費>

◇ 執行状況及び成果等

学校開放費（令和3年度事業経費 63,412,552円）

1 開放学校数

（1）小学校 17校

（2）中学校 9校

2 学校開放施設別（過去5年間）の使用状況

施設等	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
体育館	件数	7,557	7,366	6,702	770	3,799
	人数	144,255	131,637	124,534	11,648	60,015
校庭	件数	2,328	2,544	2,205	1,409	2,232
	人数	102,558	110,165	96,054	83,605	84,886
特別教室	件数	2,507	2,338	2,023	112	340
	人数	53,986	46,272	44,052	1,404	5,732
テニスコート	件数	637	711	579	341	531
	人数	7,560	7,801	7,028	3,774	5,895
プール	件数	9	10	8	0	0
	人数	520	655	507	0	0
夜間照明設備 付校庭	件数	440	481	425	263	381
	人数	16,545	15,819	15,851	9,253	11,565
陶芸窯	件数	67	70	54	8	18
	人数	279	348	290	36	84
クラブハウス	件数	5,666	5,821	4,958	1,558	3,292
	人数	71,544	71,974	58,378	13,665	29,400
合計 (クラブハウ ス利用含む)	件数	19,211	19,341	16,954	4,461	10,593
	人数	397,247	384,671	346,694	123,385	197,577
合計 (クラブハウ ス利用除く)	件数	13,545	13,520	11,996	2,903	7,301
	人数	325,703	312,697	288,316	109,720	168,177

事業カルテ (3年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-669

スポーツ推進委員費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法 第32条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画、第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	スポーツ基本法第32条の規定に基づき、昭和38年度から、スポーツ推進の為の事業の実施に係る連絡調整並びに市民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うため、スポーツ推進委員を配置している(旧体育指導委員)。スポーツ推進委員協議会を設置し、研修部会を置くなど運営体制も工夫しながら、市民ニーズに則したスポーツ推進事業を実施している。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	スポーツの実技指導やスポーツに関する指導及び助言を行うとともに、子どもから高齢者まで幅広く楽しめるニュースポーツ等の普及活動を行うことを目的として、スポーツ推進委員を配置している。また前年に引き続き、スポーツ推進委員協議会の主管事業としてノルディックウォーキング体験教室を実施し、健幸都市を実現する一助となるよう活動を行う。
予算の執行方法	委員報酬及びスポーツ振興に係る事業実施に係る経費、スポーツ推進委員の資質向上のための研修などに関する支払い。
事業の成果	市民に対してのスポーツの実技指導やスポーツ事業の実施、地域でのスポーツ事業への協力により、子どもから高齢者まで幅広い市民がスポーツに触れ、継続的なスポーツ実施へ寄与した。なお、令和3年度も前年度に引き続き、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、事業の中止や活動の減少が続いたことから、成果指標である事業の実施回数や参加者数が減少する形となった。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	4,100 千円	4,091 千円	4,218 千円	4,009 千円	3,639 千円	
事業にかかる実コスト	10,093 千円	9,215 千円	9,367 千円	7,776 千円	7,366 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	4,100 千円	4,091 千円	4,218 千円	4,009 千円	3,639 千円
	間接経費					
職員人件費	5,993 千円	5,124 千円	5,149 千円	3,767 千円	3,727 千円	
《従事人員数》	0.68 人	0.61 人	0.60 人	0.45 人	0.45 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	スポーツ推進委員の活動回数(会議及び事業従事回数)	目標	900回	900回	900回
		結果	805回	767回	-
成果指標 (アウトカム)	スポーツ推進委員主催・主管事業への参加者数	目標	1,000人	700人	700人
		結果	346人	679人	-

特記事項

-

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ ー 量 的	財 一 源 般		
N	B	B	イ	様々なスポーツの機会を確保するための環境整備を行うとともに、市民一人ひとりが様々なスポーツを体験する機会を充実させることが求められている。 今後は既存の事業について、参加者増加につながるような工夫をし、多くの市民がスポーツに親しめる機会を作っていく。

<スポーツ推進委員費>

◇執行状況及び成果等

- 1 スポーツ推進委員 任期 2年 定数 22人
令和3年度 委員数 17人（令和4年3月31日現在）
- 2 スポーツ推進委員協議会
スポーツ推進委員で構成されている。協議会は会長・副会長を置き、全体会、総務会及び企画研修部、第一事業部、第二事業部の各専門部会で構成する。
- 3 スポーツ推進委員協議会開催状況及び報酬内訳

(1) 開催状況

年 度	29	30	元	2	3
スポーツ推進委員協議会(全体会)	12回	13回	12回	12回	12回
総務会(役員会)	12回	12回	12回	12回	12回
研修部会	11回	—	—	—	—
企画研修部会	—	12回	11回	13回	11回
事業部会	11回	—	—	—	—
第一事業部会	—	12回	11回	12回	11回
第二事業部会	—	11回	12回	13回	11回
プロジェクト部会	10回	—	—	—	8回

(2) 報酬内訳

(円)

年度	委員報酬額	月額単価
29	3,626,139	委員 17,600
30	3,502,400	委員 17,600
元	3,784,000	委員 17,600
2	3,784,000	委員 17,600
3	3,520,000	委員 17,600

4 スポーツ推進委員の活動（令和3年度）

審議・報告事項	
(1) 主な活動	<p>①地域におけるスポーツ活動の企画・運営支援、及び各種ニュースポーツの指導</p> <p>②各地域団体に所属し、スポーツを通じた生きがいがづくり、健康・体力の保持増進を促す。</p>
(2) 協議会活動	<p>①主催・主管事業</p> <p>ア 「ニュースポーツラリー」の実施 令和4年2月19日（土）（総合体育館 第1スポーツホール） ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止となった。</p> <p>イ 「ニュースポーツ体験教室」の実施 全7回実施（総合体育館 第2スポーツホール） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催中止となった。</p> <p>ウ 「多摩市ポッチャフレンドカップ大会」の実施 令和3年12月12日（日）（総合体育館 第1スポーツホール）</p> <p>エ ニュースポーツの研究・普及</p> <p>オ 「Let's go スポーツ広場 in ナントヨ」（グラウンド・ゴルフ）の実施 毎月第2・第4木曜日（南豊ヶ丘フィールド） 全12回実施 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催中止となった。</p> <p>カ 「Let's go スポーツ広場 in ナントヨ グラウンド・ゴルフ大会」の実施 令和3年11月11日（木）（南豊ヶ丘フィールド）</p> <p>キ 新春歩こう会 令和4年1月30日（日）（市内～川崎大師） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。</p> <p>ク ノルディックウォーキング体験教室 ※全5回実施 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催中止となった。</p> <p>ケ 多摩市スポーツ推進委員だより「Let's go スポーツ」の発行（2回） 発行部数 11,000部</p> <p>②主要協力事業</p> <p>ア 快汗スポーツDAY（多摩市他） 令和3年10月10日（日） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模縮小して開催</p> <p>イ 自治連スポレク（自治連合会） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止</p>
(3) 地域協力事業	<p>ア 青少年問題協議会地区委員会（青少年問題協議会）</p> <p>イ 市内スポーツ振興会</p> <p>ウ 市内小学校・児童館</p>
(4) その他の活動	<p>ア 東京都スポーツ推進委員協議会理事会</p> <p>イ 多摩市青少年問題協議会委員</p> <p>ウ 多摩市スポーツ推進審議会</p> <p>エ 第6ブロック研究会（南多摩5市）及びブロック間のスポーツ推進委員間の情報交換（開催地：多摩市※リモート開催）</p> <p>オ 市内地域運動会等への協力</p> <p>カ 各種研修会等への出席</p>

事業カルテ (3年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-670

スポーツ教室運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法		
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち			
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり		
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり		
	関連する施策	—	—	—	—
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画 第4次多摩市生涯学習推進計画 2020年東京オリンピックパラリンピックに向けた多摩市の取り組み方針				
関連する報告書など	—				
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	スポーツを通じた健康づくりや地域コミュニティの醸成など、豊かな暮らしに寄与する事業を行っている。体育協会、各加盟団体、スポーツ推進委員、大学、市民団体及び民間事業者など、多様な担い手と協働することで、事業の充実を図っている。				

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	市民誰もがスポーツに親しみ、身体を動かす楽しさを知り、自分に合った生涯スポーツを見つけてもらうために、運動の苦手な人でも気軽に参加できるような事業を実施する。より多くの市民が参加することを目標に、様々な事業を実施する。
予算の執行方法	各種スポーツ教室等を実施するための講師謝礼、消耗品購入費などを支払う。
事業の成果	新型コロナウイルスの影響につき、予定していた事業の中止が続いた。一方で、読売巨人軍との協働で実施している、市内幼稚園や保育園、市内小学校への訪問事業は順調に開催できた。子どもを中心として、スポーツへの理解と関心を高めるきっかけを作ることができた。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	3,741 千円	1,914 千円	5,119 千円	697 千円	0 千円	
事業にかかる実コスト	11,937 千円	7,290 千円	10,268 千円	5,720 千円	4,141 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	510 千円	770 千円	1,000 千円	310 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	2,287 千円	41 千円	2,578 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	944 千円	1,103 千円	1,541 千円	387 千円	0 千円
	間接経費					
職員人件費	8,196 千円	5,376 千円	5,149 千円	5,023 千円	4,141 千円	
《従事人員数》	0.93 人	0.64 人	0.60 人	0.60 人	0.50 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	実施の事業	目標	6事業	6事業	6事業
		結果	3事業	2事業	—
成果指標 (アウトカム)	参加者数	目標	1,200人	1,200人	950人
		結果	630人	1,057人	

特記事項

令和3年度も、前年度に引き続き年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、予定していた事業が中止となった。そのため、予算の執行が発生せず、決算額が0円となった。なお、今年度実施できた読売巨人軍との協働事業は予算を伴わない形で行った。

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
N	N	N	イ	事業実施にあたり、募集方法や事業PR方法について検討し、多くの市民に参加してもらえるよう工夫が必要となっている。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況をみつつ、事業の実施可否判断や、外出自粛が続くことによる健康被害解消を目的とした事業実施などを検討する必要がある。

〈スポーツ教室運営事業〉

◇執行状況及び成果等

1 参加者数等

年度	大会・競技会	スポーツ教室・講習会等	参加者数 合計	経 費
29	-	815人	815人	3,741,154円
30	115人	1,707人	1,822人	1,913,531円
元	-	3,225人	3,225人	5,119,021円
2	-	630人	630人	696,853円
3	-	1,057人	1,057人	0円

2 事業実績等

①平成29年度

事 業 名		実 施 時 期	実施回数(日数)	参 加 人 員
大会 競技会	みんなで走ろう 50m/100m走	10月15日(日)	1日	0人 (雨天中止)
	小 計			0人
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 等	小学生ゴルフ教室(前期)	5月13日～6月17日 全て土曜日	6日	20人
	小学生ゴルフ教室(後期)	10月7日～11月11日 全て土曜日	6日	20人
	八ヶ岳子どもサッカー体験事業	7月31日(月)～8月2日(水)	3日	120人
	新春歩こう会(登戸から20km、武蔵小杉から10kmの川崎大師駅までのウォーキング)	1月21日(日)	1日	143人
	陸上競技教室	11月18日(土)	1日	36人
	夢の教室	通年	15回	476人
	小 計			815人

②平成30年度

事 業 名		実 施 時 期	実施回数(日数)	参 加 人 員
大会 競技会	みんなで走ろう 50m/100m走	11月11日(日)	1日	115人
	小 計			115人
	小学生ゴルフ教室(前期)	5月13日～6月17日 全て土曜日	6日	21人
	小学生ゴルフ教室(後期)	10月7日～11月11日 全て土曜日	6日	24人
	八ヶ岳子どもサッカー体験事業	7月30日(月)～8月1日(水)	3日	106人

スポーツ教室・講習会等	新春歩こう会(登戸から20km、武蔵小杉から10kmの川崎大師駅までのウォーキング)	1月27日(日)	1日	142人
	陸上競技教室	11月10日(土)	1日	46人
	夢の教室	通年	22回	660人
	読売巨人軍イースタンリーグ公式戦 市民無料招待試合	7月21日(土)	1日	491人
	読売巨人軍 学校訪問事業 ベースボール型授業(3校)	通年	7クラス	217人
	小 計			1,707人

③令和元年度

事業名		実施時期	実施回数(日数)	参加人員
スポーツ教室・講習会等	小学生ゴルフ教室(前期)	5月11日～6月15日 全て土曜日	5日	20人
	小学生ゴルフ教室(後期)	10月5日～11月9日 全て土曜日	5日	23人
	八ヶ岳子どもサッカー体験事業	7月29日(月)～31日 (水)、11月16日(土)	4日	93人
	★ラグビー講座 「いちからまなぶ ラグビーのルール」	9月16日(金)、 10月27日(日)	2回	35人
	新春歩こう会(聖蹟桜ヶ丘駅から高幡 不動駅までのウォーキング)	1月26日(日)	1日	0人 ※雨天中止
	夢の教室	通年	30回	996人
	読売巨人軍イースタンリーグ公式戦 市民無料招待試合	6月16日(日)	1日	778人
	★ジャイアンツ球場まで…歩こう 会！！	6月16日(日)	1日	115人
	★読売巨人軍 選手派遣事業(1校)	12月13日(金)	1日	571人
	読売巨人軍 学校訪問事業 ベースボール型授業(3校)	通年	10回	296人
	★読売巨人軍 幼稚園・保育園訪問 事業(野球)(2園)	通年	4回	231人
	★読売巨人軍 幼稚園・保育園訪問 事業(ダンス)(1園)	5月16日(木)	1回	67人
	★読売巨人軍 1軍オープン戦 小学生無料招待事業	3月14日(土)～ 3月15日(日)	2日	0人 ※コロナウイルス 感染症拡大により 中止
小 計			3,225人	

※★は令和元年度より実施を開始した事業

④令和2年度

事業名		実施時期	実施回数(日数)	参加人員
スポーツ教室・講習会等	★屋外ヨガ教室事業業務委託	10月8日	1日	210人
	読売巨人軍 学校訪問事業 ベースボール型授業(4校)	通年	4回	269人
	読売巨人軍 幼稚園・保育園訪問事業 (野球)(1園)	通年	1回	151人
	小 計			630人

※★は令和2年度より実施を開始した事業

※令和2年に関して、新型コロナウイルス感染症の影響で以下事業は中止となった。

- (1)小学生ゴルフ教室(前期・後期)
- (2)八ヶ岳子どもサッカー体験事業
- (3)陸上競技教室
- (4)新春歩こう会

⑤令和3年度

事業名		実施時期	実施回数(日数)	参加人員
スポーツ教室・講習会等	読売巨人軍 学校訪問事業 ベースボール型授業(11校)	通年	11回	865人
	読売巨人軍 幼稚園・保育園訪問事業 (野球)(2園)	通年	2回	192人
	小 計			1,057人

※令和3年度に関して、新型コロナウイルス感染症の影響で以下事業は中止となった。

- (1)小学生ゴルフ教室(前期・後期)
- (2)八ヶ岳子どもサッカー体験事業
- (3)陸上競技教室
- (4)新春歩こう会

事業開始年度

- ① 「快汗スポーツDAY」(平成9年度から) ※市民スポーツフェア(昭和54年度開始)を改名
※平成27年度より、指定管理者の指定事業及び自主事業となった
- ② 市民歩こう会(昭和54年度から)※新春歩こう会
- ③ みんなで走ろう50m/100m走(記録会)(平成5年度から)
※平成3年度の市民スポーツフェアの中で実施
※50m走は平成18年度から実施
※陸上競技場改修に伴い写真判定機が撤去されたため、平成30年度をもって事業終了
- ④ 陸上競技教室(平成17年度から)
- ⑤ 小学生ゴルフ教室(平成17年度から)
- ⑥ 八ヶ岳子どもサッカー体験事業(平成19年度から)

- ⑦ 夢の教室(平成28年度から)
- ⑧ 読売巨人軍イースタンリーグ 市民無料招待試合(平成27年度から)
- ⑨ 読売巨人軍 学校訪問事業 ベースボール型授業(平成30年度から)
- ⑩ 読売巨人軍 選手派遣事業(令和元年度から)
- ⑪ 読売巨人軍 幼稚園・保育園訪問事業(野球・ダンス)(令和元年度から)
- ⑫ ジャイアンツ球場まで・・・歩こう会！！(令和元年度から)
- ⑬ 読売巨人軍 1軍オープン戦(令和元年度から)小学生無料招待事業
- ⑭ ラグビー講座「いちからまなぶ ラグビーのルール」(令和元年度から)